

ネ ク ス ト
n e x t
ソ シ オ
s o c i o

～next s o c i oが支援します～

①進学を目指した学習の機会

軽度の発達障がいの場合、成人して年金の受給を受けられることはとても難しいです。

それはすなわち、将来、自分の生活を自分で作っていく必要があるという事です。

発達に障がいがあると、自身のレベルに合った学習をする機会を得ること、それを伸ばしていく機会を得ること自体がとても難しいのが現状です。

一人ひとりが目標をもって、学習に取り組めるよう支援します。

②将来、自立した生活を営むための知識・技術の習得

炊事、洗濯、掃除、金銭管理、人付き合い・・・将来、自立した生活を営むうえで必要なスキルがたくさんあります。

障がいがあるからこそ、早いうちから沢山の経験、失敗や成功を経て学んでいく必要があります。将来のために、「経験の積み重ね」が出来るよう支援します。

③体力・精神力の鍛錬

将来、就業できても、それを継続していただくだけの体力・精神力がなければ意味がありません。

障がいがあるから、と配慮され、許されるのは児童、生徒である期間だけ。社会に出れば他の健常者と同じレベルで評価される場面が多くなります。

様々な体験を通じて、最後までやり遂げることの苦しさ、達成感、を経験し、自分に自信が持てるよう、耐える力、続ける力、強い身体、を育めるよう支援します。